

北稜会 臨時総会 議事録

- 1 開催日時 2026年3月14日（土）10時30分
- 2 開催場所 北稜高校会議室
- 3 出席者 会員数 263 名（会員 230 名・特別会員 33 名）
出席者 17 名（会員 14 名・特別会員 3 名）
欠席者 246 名（会員 216 名・特別会員 30 名）
- 4 議長選出 司会者が総会の開会を宣言し、議長に三神 みゆき 氏、書記に藤田 裕美 氏を指名し、了承を得た。
議長は就任の挨拶後、上記の通り会員の出席状況を告げ、委任について確認し、総会の成立を宣言した。

5 議事の審議経過及び結果

【議題】 北稜会の存続について

【運営が困難となっている主な理由】

1. 新規入会者の激減
2. 運営資金の不足
3. 総会・会議への参加者減少
4. 学校での実質的な活動がほぼない（現在は賛助金集めのみ）
5. 代表幹事の退会
6. 代表幹事の後任が不在

【運営状況の説明】

- 去年の総会において、役員より「休会」の提案があったが、北稜高等学校創立50周年に向け、存続の可能性を検討することとなった。
- 入試制度の変更により、PTA活動の形態が大きく変化。
- 現在のPTAは委員会を廃止し、本部役員のみで運営されている。
- 以前のように、PTA役員経験者が北稜会へ入会する流れがなく、さらにコロナ禍の影響もあって、新規入会者及び再入会者（アゲイン会員）が減少している。

- 会員数の減少に伴い、運営費の確保が困難な状況となっている。
- 総会の出席者は 15～20 名程度。一方で、会議や実際の活動への参加者は 3～6 名程度にとどまっている状態が続いている。
- 現在、学校における北稜会としての活動は、賛助金集めのみであり、かつて行っていた校内花壇の手入れやバザー等の活動は行っていない。
- 代表幹事が体調不良により退会し、現在は、代表代行および後任者ともに不在の状態となっている

【会員からの意見】

① 北稜会の存続そのものへの懸念・限界

- 参加者・活動内容ともに減少しており、現状のまま継続するのは困難ではないか。
- 入会者の減少、資金不足ともに打開策が見えない状況。
- 数年前から存続の危機にあり、昨年度・今年度とも新規入会案内を停止している。
- 活動が賛助金の封入作業のみとなり、参加しなくても会が成り立つ状態になっている。
- 集まる賛助金より案内・運営にかかる費用が上回る年もある。

② 運営体制・担い手不足に関する課題

- 継続するなら代表者・中心となる人の選出が不可欠。
- イニシアチブを取る人を決めること自体が難しい。
- HP 活用などの方法はあるが、誰が責任をもってまとめるのかが不明。
- これまで一部の代表幹事に運営を任せきりで、健全な体制ではなかったのではないか。
- 学校側としても、無理に特定の方へ負担を強いる形での存続は望まない。

③ 活動内容の希薄化と募集の難しさ

- 活動内容が不明確なままでは入会案内・募集はできない。
- 募集を再開するなら、昨年度・今年度分の保護者への案内が必要だが、その経費がない。

④ 50 周年をどう位置づけるかという意見

- 50 周年を一つの節目とすべきではないか。

- 学校創立 50 周年は 3 年後、北稜会 50 周年は 5 年後であり、どこを区切りとするのか整理が必要。
- この状況であと 3 年または 5 年活動を継続できるのか疑問。
- 「やめるのは簡単だが、それでよいのか」との葛藤もある。

⑤ これまでの歴史・想いを大切にしたいという意見

- 以前は盛んに活動し、総会兼バスツアーを毎年楽しみにしていた。
- 一期一会のもとでの活動は、今では良い思い出として残っている。
- 先輩方のこれまでの熱い思いは理解しており、簡単に切り捨てるべきではない。
- 30 周年パンフレット以降、大きな活動はないが、50 周年には何らかの協力をしたい。

⑥ 継続する場合の「最低条件・可能性」

- 学校や生徒から依頼があれば協力したい。
- 毎年でなくても、食事会など規模を縮小した形なら可能性はあるのではないか。
- 寄付を集めるなど、これまでと違う関わり方は考えられるかもしれない。

【結 論】

- 議長より、当会の運営状況について説明があり、存続に向けた現実的かつ実行可能な提案が見いだせないことから、やむを得ず解散に至った経緯が説明された。
- 年度末までの暫定的な体制として、代表代行を橋本 友美 氏、会計代行を栗野 明子 氏が務めることが確認された。
- 本件について議長が議場に賛否を諮った結果、全会一致で解散が可決された。
- これにより、当会は年度末をもって解散することが正式に決定した。
- なお、今年度の活動報告及び会計報告は、北稜会ホームページに掲載する。